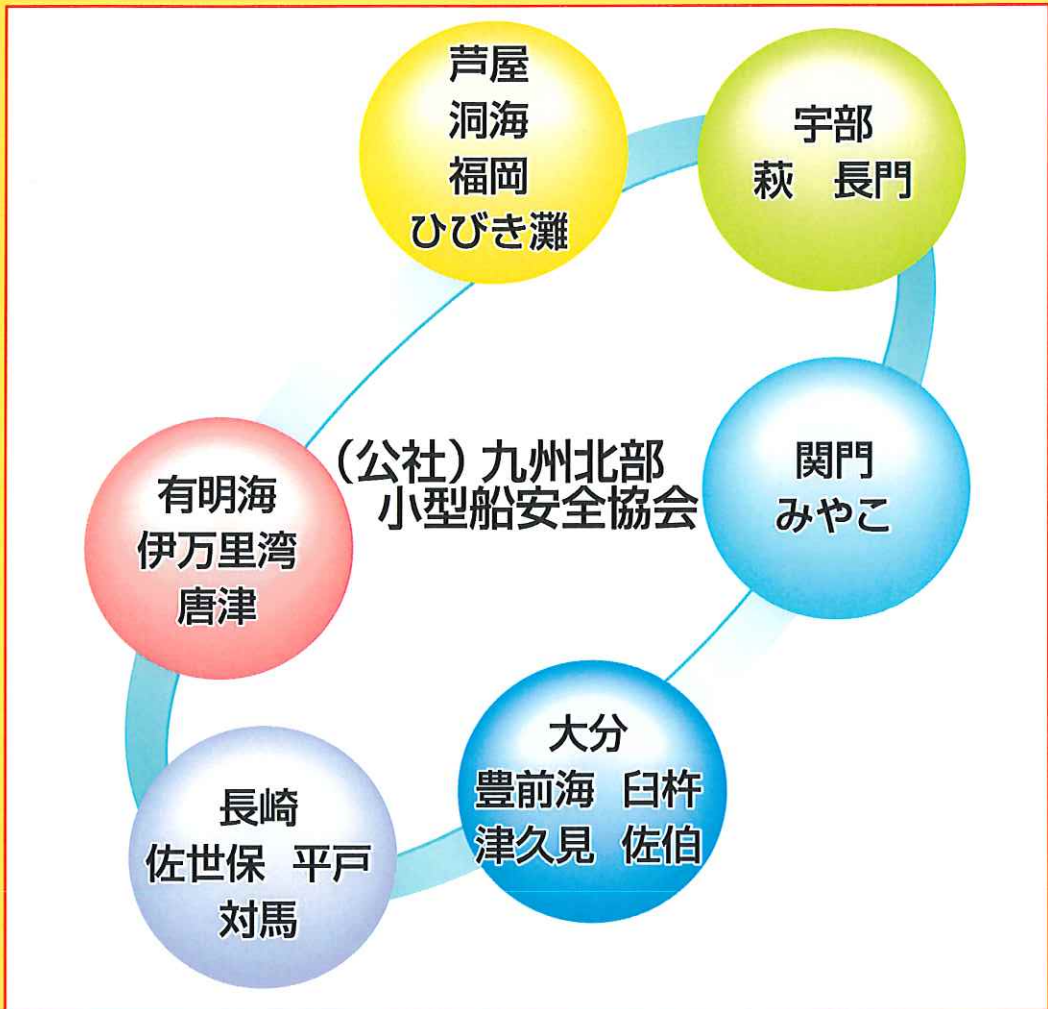


海をもっと楽しく安全に 広げよう! 安全活動の輪!



公益社団法人 九州北部小型船安全協会

〒801-0852 北九州市門司区港町7-8 郵船ビル2階
TEL093-332-3578 FAX093-332-3579
E-mail 9hoku@kyu-shoankyo.or.jp
<http://www.kyu-shoankyo.or.jp>

目次

出港前のチェックポイント	P2
航行中のチェックポイント	P8
航行後のチェックポイント	P11
地域で活躍する海上安全指導員	P12
ライフジャケットのメンテナンス	P13
ライフロープの取付け方法	P15
広げよう！安全活動の輪！	P17
出港前チェック表	P21
洋上でのトラブルシューティング(船外機・PWC)	P25
洋上でのトラブルシューティング(ディーゼル機関)	P27
あなたは遵守事項を守っていますか！	P29
発航前検査チェックリスト	P30

安全運航の基本

- 1 無理のない航海計画を立てる。
- 2 天気予報の確認、気象・海象の変化に注意する。
- 3 出航前には、船体・機関を点検する。
- 4 定員オーバーをしない。
- 5 海上交通ルールとマナーを守る。
- 6 見張りを励行し、船位を確認する。
- 7 ライフジャケットを着用する。
- 8 万一来に備え、連絡体制を確保する。

出港前のチェックポイント

- ◎ 無理のない航海計画を立てていますか。
- ◎ 気象・海象情報を入手していますか。
- ◎ 体調は万全ですか。
- ◎ 連絡体制を確保していますか。
- ◎ 全員ライフジャケットを着用していますか。
- ◎ 法定書類・法定備品の積み込みを確認していますか。
- ◎ 船体・機関を点検していますか。



無理のない航海計画を立てる

- ゲレンデ、潮の流れ、水深などの調査は十分ですか。
- 艇の性能、航行区域、操船技術、自然状況を考慮した無理のない計画ですか。
- 2隻以上のグループで行動する計画としていますか。
- ヨット・モーターボート用参考図などの水路参考図誌を準備していますか。

気象・海象情報を入手する

- 最新の海の天気は調べましたか。
- 天候悪化が予想され、出航を中止する必要はありませんか。
- 観天望気を知っていますか。
(各ページ下の「海の豆知識」参照)



＼ ミニボートに乗る前に！ ／

出航前の5ヶ条

- ① **ライフジャケット** は出航前から着用していますか。
- ② **燃料は満タン** になっていますか。
- ③ 他船に確認してもらうための目印となる**旗**を高い位置に掲げていますか。
- ④ エンジントラブルに備えて**オール**を積み込んでいますか。
- ⑤ **携帯電話**を防水パックに入れてありますか。

体調に気をつける

- お酒に酔って正常な操船ができないおそれはありませんか。
- 風邪薬の影響など体調不良により正常な操船ができないおそれはありませんか。



連絡体制を確保する

- 家族、知人、マリーナなどの連絡先は確認しましたか。
- 家族、知人、マリーナなどに航海計画を連絡しましたか。
- 無線機の通信テストは終わりましたか。
- 携帯電話などを持ちましたか。また、行き先は通話可能範囲内ですか。
- 携帯電話のバッテリーは大丈夫ですか。

全員ライフジャケットを着用する

- 乗船者数は最大搭載人員を超えていませんか。
- 乗船者は全員ライフジャケットを着用していますか。
- 季節や場所に合った服装、保護具を用意していますか。



法定書類・法定備品の積み込み確認

- 船舶検査証書の有効期限は過ぎていませんか。
- 小型船舶操縦免許証、船舶検査証書、船舶検査手帳などの法定書類は積み込みましたか。
- 救命浮環、ライフジャケット、消火器、工具、予備品などの法定備品は、すぐに使用可能か確認の上、積み込みましたか。
- 取扱説明書は携行していますか。
- 船舶検査済票は正しく貼られていますか。



操船者の資格のチェック!

- 有効な海技免許を持たない人が操船していませんか?

※ボート等は港内・航路内で、水上オートバイはすべての海域で、小型船舶操縦者以外の操縦が原則禁止されています。

船体・機関を点検する

[詳しくは取扱説明書を参照してください。]

6

出港前のチェックポイント

船体

- 船底プラグは確実に閉鎖されていますか。
- 船底にビルジは溜まっていませんか。
- 機関室内の配管などで海水がにじんだり塩がついている箇所はありませんか。
- 係留索に損傷はありませんか。
- 船灯（マスト灯、両色灯など）は点灯しますか。
- 舵輪と舵は滑らかに作動しますか。
- 破損している箇所はありませんか。
- 水、食料などの積荷はバランスよく積まれていますか。

機関始動前

- バッテリー液は適量ですか。
- バッテリーターミナルは緩んでいませんか。
- バッテリー電圧は十分ですか。
- Vベルトに緩み、へたり、亀裂はありませんか。
- 燃料フィルターに水があったりゴミが詰まったりしていませんか。
- 燃料は十分ですか。（併せて、燃料タンク収納庫のふたを開放し、甲板下の閉鎖部分にガスが滞留していないか確認するとともに、自然換気に努めていますか。）
- 潤滑油は適量で、粘度は適切ですか。
- ラジエーター液は適量入っていますか。
- 機関取り付けボルトは緩んでいませんか。
- 船外機船にあっては、船外機はきちんと固定されていますか。
- 冷却水取入れ口付近及び冷却水フィルターにごみはありませんか。
- クラッチレバー、スロットルレバーは円滑に作動しますか。
- クラッチは中立位置にありますか。
- 燃料、オイル、エアの各フィルターは汚れて目詰まりしていませんか。



機関始動後

- 各計器は適正範囲（グリーンゾーン）内にありますか。
- 冷却水排出口から冷却水は出ていますか。
- 排気色は無色で、異臭はありませんか。
- 異常音（不連続音、きしみ音、叩き音など）はありませんか。
- 機関から水、油、排気ガスの漏れはありませんか。
- プロペラシャフト貫通部からの水漏れはありませんか。
- Vベルトが異常に振れ回っていませんか。
- 適正に暖気運転を行っていますか。
- 冷却水温度計は適正範囲ですか。
- 潤滑油温度計は適正範囲ですか。
- 排気ガス温度計は適正範囲ですか。

プレジャーボート海難で、
最も多く発生しているのは
機関故障によるものです！



●●●● 航行中のチェックポイント ●●●●

- ◎ 適切な見張りを行っていますか。
- ◎ 海上交通ルールを守っていますか。
- ◎ 気象の変化に注意していますか。
- ◎ 航行中の船体・機関に注意していますか。
- ◎ ライフジャケットを着用していますか。
- ◎ 非常時に使用する救命器具、信号などすぐ使えるように準備していますか。
- ◎ ルール・マナーを守っていますか。

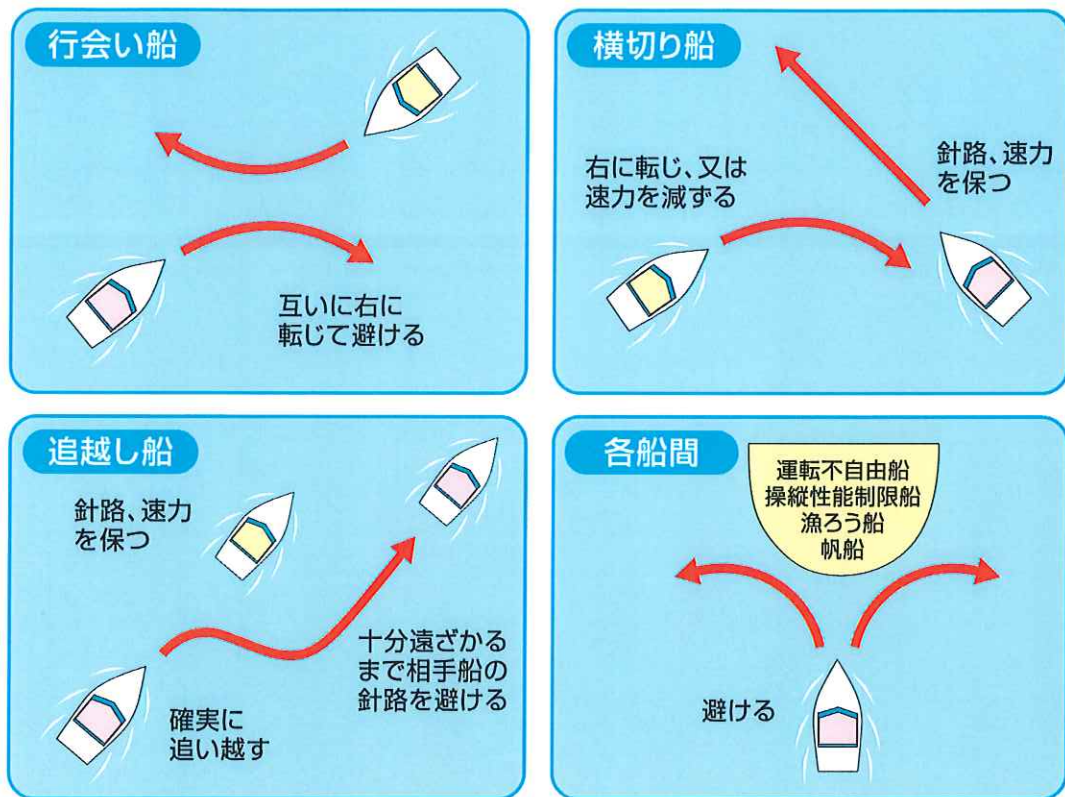
見張りの励行

- 航行中・漂泊中・錨泊中を問わず周囲の見張りを行っていますか。
- 浮遊物、浅瀬、岩などの障害物は把握できていますか。
- ゴミや藻の多い海域に入っていないですか。
- 自船の位置を把握していますか。
- 衝突のおそれのある船舶はありませんか。



海上交通ルールを守る

□海上衝突予防法、海上交通安全法、港則法などの海上交通ルールを守っていますか。



- 工事・作業が行われている海域に入っていないですか。
 □航路内や狭水道で錨泊や漂泊をしていませんか。
 □ブイに勝手に係留していませんか。

気象の変化に注意する

- ラジオなどで天気予報を聞いていますか。
 □風、雲、波などの変化に注意していますか。
 □仲間の船と情報交換していますか。
 □荒天などにより計画を変更したときは、出港前に連絡した所に計画変更の連絡を行いましたか。



船体・機関に注意する

- 転覆のおそれがあるような船内移動をしていませんか。
- 船底のビルジの量が増えていませんか。
- 機関の音に異状はありませんか。
- 排気ガスの色、臭い、温度に異常はありませんか。
- 燃料の残量は十分ですか。
- 冷却水及び潤滑油の温度・圧力に異常はありませんか。
- 機関回転数は適正值以上になっていませんか。
- 機関を途中で止める際には、バッテリーの過放電防止のため不必要な電気スイッチは切っていますか。



ルール・マナーを守る

- 海水浴場や人家の近くで航行していませんか。
- ダイバーや遊泳者、定置網や養殖場の近くで航行していませんか。
- 漁ろう中の漁船、釣りをしている人の近くで航行していませんか。
- 通航船舶の多い航路付近で航行していたり、停留していたりしていませんか。
- 地方自治体の条例による規制、ローカルルールによる水面利用のルールを守っていますか。
- 航行区域を越えて航行していませんか。
- 暴走や見せびらかし行為をしていませんか。
- 大型船に近づきすぎていませんか。大型船には大きな死角があります。

●●●● 航行後のチェックポイント ●●●●

共通

- 各部の洗浄は十分行いましたか。
- バッテリースイッチは切りましたか。
- 調子の悪いところはありませんか。
- 航行前に連絡したところに、入港報告していますか。
- 油やゴミは絶対に海に捨てないこと。



プレジャーボート

- 適切な係留場所に係留していますか。
- 係留方法は他船の迷惑になりませんか。
- 荒天時に流出したり、他船に接触したりしないよう、しっかりと係留しましたか。
- 開口部は確実に閉鎖しましたか。
- 機関停止前には適正に冷機運転を行いましたか。

地域で活躍する海上安全指導員

海上保安庁では、安全で秩序あるマリンレジャーの発展を図るため、地域におけるマリンレジャーのリーダー的な民間有志の方々を「海上安全指導員」として指定し、プレジャーボート等に対する様々な安全活動を行っていただいております。

また、海上安全指導員が使用する船舶を「安全パトロール艇」として指定しており、現在、全国で約1800名の海上安全指導員と約1300隻の安全パトロール艇が活躍しています。

《訪船指導中の海上安全指導員》



海上安全指導員が安全活動を行う時には、腕章を着用し、海上安全指導員手帳を携帯しています。また、安全パトロール艇には旗を掲げ、ステッカーを貼付しておりますので、みなさんも、この趣旨をご理解いただき、海上安全指導員の活動にご協力をお願いします。

どうメンテナンスするの？



ライフジャケットは消耗品です。
メンテナンスを必要とします。



膨脹式ライフジャケットのメンテナンス

使用前に点検しましょう。

カバーやベルトに損傷はない？

気室に穴は開いていない？

ホイッスルは鳴る？

「空気漏れの確認方法」
補助送気管から空気を口で吹き込み、
気室を完全に膨らませた状態で、2
4時間放置します。放置した後、気
室がしぼんでいたら、穴が開いてい
る可能性が高いです。穴があいてい
た場合、使用を中止してください。

ポンペは未使用？

再帰反射布がはがれていない？

セットされているポンペが未使用か、
外して封板に穴があいていないか確認
しましょう。未使用の場合、元の位
置まで正しく取り付けましょう。

補助送気管に損傷はない？



補助送気管は破損していないか、
キャップがついているか確認しまし
ょう。さらに口で空気を送り込み、正常
に送気できるかも確認してください。
空気を抜くときは、キャップを外し、
裏返しにして差し込んでください。

スプールは未使用？

バックルに損傷はない？

自動膨脹式の場合は、スプール
(水感知部)を確認し、使用済
みの場合、交換してください。

年に1回、販売店を通じて、定期点検を依頼することをおすすめします。

ポンペとスプールの交換のタイミング

ポンペ

スプール

ポンペは使用し、穴が開いているものは必ず交換し
てください。ポンペは特に有効期限はありませんが、
さびが付着しますとそのさびにより気室布を傷つけ
てしまう場合がありますので、その場合は交換して
ください。

スプール(水感知部)は一度使用したら、必ず交換
してください。また、未使用の場合も新しいものに
交換しないと劣化が起こり、作動するまでの時間が
長く不具合が発生する場合があります。定期的に(で
きれば年に1回程度)交換をしてください。メーカー
によって利用期限が刻印されたものもあります。

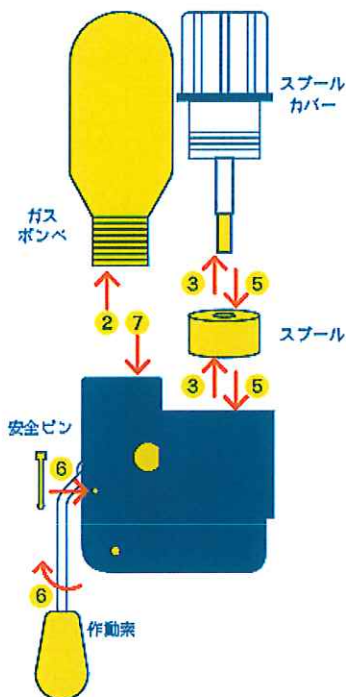
どうメンテナンスするの？



参考：ボンベとスプールの交換方法

気室を膨脹させるガスボンベは、一度使用すると二度と使えないため、新しいボンベに交換する必要があります。また、自動膨脹に用いられるスプールも同様に、一度使用すると、新しいものに交換する必要があります。交換方法に関しましては、メーカーにより異なるため、購入したライフジャケットの取扱説明書を必ずご覧ください。こちらでは参考として紹介します。

- 1 膨脹している場合は補助送気管のキャップを外し、キャップを裏返しにして補助送気管に差し込み、ガスを抜いてください。
- 2 使用済みのガスボンベを取り外してください。
- 3 スプールカバーを外し、使用済みのスプールを取り出してください。
- 4 膨脹装置本体をよく乾燥させてください。
- 5 新しいスプールをセットし、スプールカバーをしっかりと締めてください。
- 6 作動索を元の位置に戻し、安全ピンが折れていないか確認してください。折れている場合は、付属の安全ピンをセットしてください。
- 7 未使用のガスボンベを回して、しっかりと差し込んでください。
- 8 気室布を膨脹装置をくるむように内側へ巻き込み、マジックテープを閉じ、反対側も同様に巻き込むようにして閉じます。えり部分は後方に巻き込みように閉じ、全体のマジックテープを閉じてください。

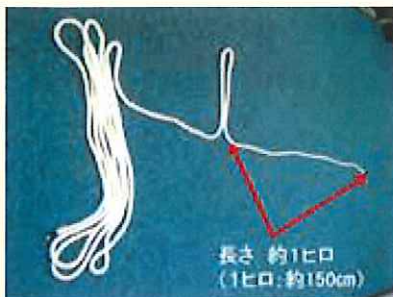


ライフロープ(縄梯子)の取付け

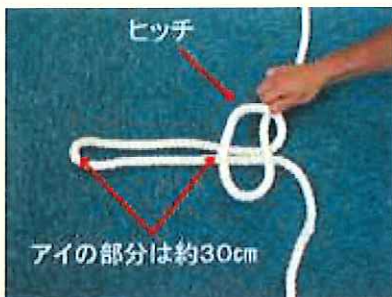
海中転落した場合、ひとりで船上に上がるのは非常に困難です。ライフロープを取付けることにより、ひとりでも容易に船上に上がることが可能となります。

ライフロープの作成方法

- 1** 長さ約10mのロープを用意する。



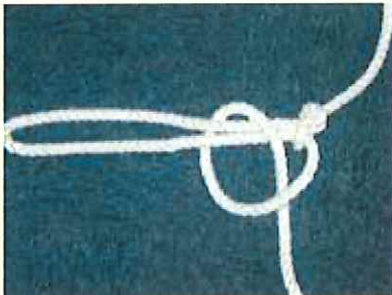
- 2** 梯子の一段目の作成。



- 3** アイの部分をヒッチの中に通す。



- 4** 一方のロープもヒッチを作りアイをとす。



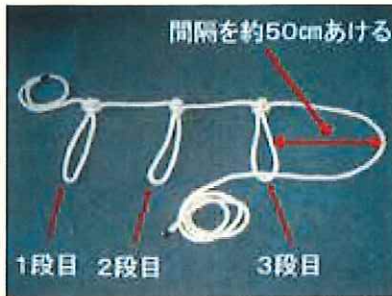
- 5** 図のようにロープを結ぶ。



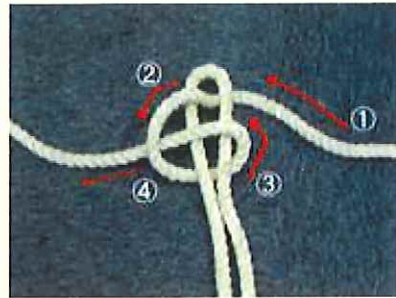
- 6** 梯子の2段目、3段目の作成
(アイの先端から10cmの間隔をあげ、上記3、4、5の要領でロープを結ぶ。)



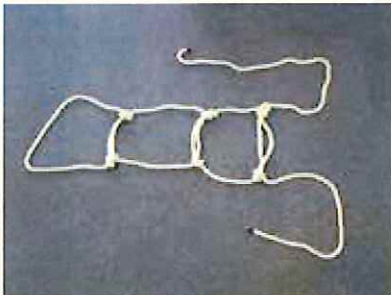
- 7** 梯子の3段目まで作成したら間隔を50cmあけて3段目のアイにロープをとおす。



- 8** 梯子の反対側の3段目から1段目まで順に下図のように結ぶ。



- 9** 形を整えて完成



- 10** 船内に図のように固定する。



- 11** 実際に船舶に取付けた状況



●●●●広げよう！安全活動の輪！●●●●

あなたも会員になりませんか！！

(公社)九州北部小型船安全協会は、第七管区海上保安本部が管轄する福岡県、山口県(西部)、大分県、佐賀県及び長崎県の沿岸海域において、モーターボート・ヨット・プレジャーボート等の小型船の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で快適なマリンレジャーを楽しんでいただくため、各地区22ヶ所で活動を行っております。



「ご質問、入会希望の方は

TEL093-332-3578へ」

下記の地区小型船安全協会をご案内いたします。

関門地区小型船安全協会

みやこ地区小型船安全協会

宇部小型船安全協会

洞海地区小型船安全協会

芦屋地区小型船安全協会

ひびき灘地区小型船安全協会

福岡小型船安全協会

有明海小型船安全協会

長崎小型船安全協会

対馬地区小型船安全協会

佐世保地区小型船安全協会

平戸地区小型船安全協会

豊前海小型船舶安全協会

大分地区小型船安全協会

臼杵地区小型船安全協会

津久見地区小型船安全協会

佐伯地区小型船安全協会

長門地区小型船安全協会

萩地区小型船安全協会

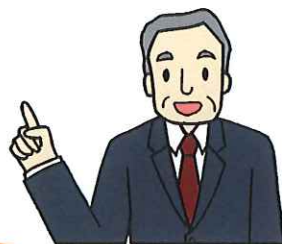
NPO 法人伊万里湾小型船安全協会

NPO 法人唐津玄海小型船安全協会

会員になると

1. 海上保安官と共に、パトロールを実施したり、講習会や訓練に参加することで、海難防止の知識や船舶運航、人命救助などの技能を向上できます。
2. 会員3千人の仲間と、安全運航に必要な情報を共有でき、安全で快適なレジャーを楽しむあなたをサポートしてくれます。
3. ヨット・モーターボート総合保険が割引となります。

ヨット・モーターボート 総合保険？



団体割引5%適用

主な特色

1. 団体保険のため、通常の個別加入に比べ保険料が大変**割安**です。
2. 第三者に対する賠償を高額に設定しておりますので**安心**です。
3. 郵便振込によるお申し込みなので加入手続きが**簡単**です。

アイム興産株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石3番5号

TEL 093-621-6385

(土曜・日曜・祝日・休業日を除くAM8:30~17:30)

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社 八幡支社

お問い合わせ先
及び取扱代理店

安全講習会



当協会では、第七管区海上保安本部指導で会員に対する安全講習会を各地で開催しております。内容は、海上保安官や各分野の専門家による安全運航に関する講演や実技指導などです。会員以外の方の参加も歓迎しております。



第七管区海上保安本部指導



日本財団

安全講習会 受講旗



講習会に
参加してみてください。

会員は、この安全講習会を受講すると、安全講習会受講旗が無償配布されます。船舶に掲揚すれば、ご自分の安全意識の高さを示すことができます。

安全パトロール

会員は、海上安全指導員の指名を受けた会員を中心に、各海上保安部署の巡視艇と合同でプレジャーボートを訪船して、法定書類・法定設備の確認や運航上の注意を呼びかけるなどの活動を行います。



人命救助訓練

会員は、各地区と海上保安部署で実施される海難救助訓練に参加して、遭難ボートの救助訓練、人命の救助訓練及び救難資機材の取り扱い等を行っております。



出港前チェック表

1 基本的事項のチェック

- ① 携帯電話は持っていますか？（バッテリー残量は十分ですか？）
- ② 天気予報はチェックしましたか？
- ③ 航行区域を考えた無理のない航海計画ですか？
- ④ 体調の状態は大丈夫ですか？
- ⑤ 海技免許・法定書類は積込みましたか？
- ⑥ 水・食料は積込みましたか？
- ⑦ 燃料は十分にありますか？
- ⑧ 潤滑油は適量ですか？
- ⑨ 家族等に行き先は告げていますか？

2 船体のチェック

- ① 外板周辺に亀裂・破損等の異状はありませんか？
- ② ビルジは溜まって（増えて）いませんか？
- ③ 舵輪・舵は滑らかに作動しますか？

3 機関のチェック

- ① バッテリーは大丈夫ですか？（液、ターミナルの緩み）
- ② 燃料こし器に水やゴミは詰まっていますか？
- ③ 海水取入弁は開放しましたか？
- ④ 冷却水は出ていますか？
- ⑤ 冷却水温度・潤滑油温度は大丈夫ですか？
- ⑥ エンジンから潤滑油の漏れ等はありませんか？
- ⑦ 異常音はありませんか？

4 その他

- ① 最大搭載人員を厳守していますか？
- ② 乗船者全員がライフジャケットを着用していますか？
- ※ 漂流中、バッテリー確保のため電装品は使用しないようにします。
- ※ 航行中・漂流中、見張りには十分注意するようにします。

出港前チェック表

1 基本的事項のチェック

- ① 携帯電話は持っていますか？（バッテリー残量は十分ですか？）
- ② 天気予報はチェックしましたか？
- ③ 航行区域を考えた無理のない航海計画ですか？
- ④ 体調の状態は大丈夫ですか？
- ⑤ 海技免許・法定書類は積込みましたか？
- ⑥ 水・食料は積込みましたか？
- ⑦ 燃料は十分にありますか？
- ⑧ 潤滑油は適量ですか？
- ⑨ 家族等に行き先は告げていますか？

2 船体のチェック

- ① 外板周辺に亀裂・破損等の異状はありませんか？
- ② ビルジは溜まって（増えて）いませんか？
- ③ 舵輪・舵は滑らかに作動しますか？

3 機関のチェック

- ① バッテリーは大丈夫ですか？（液、ターミナルの緩み）
- ② 燃料こし器に水やゴミは詰まっていますか？
- ③ 海水取入弁は開放しましたか？
- ④ 冷却水は出ていますか？
- ⑤ 冷却水温度・潤滑油温度は大丈夫ですか？
- ⑥ エンジンから潤滑油の漏れ等はありませんか？
- ⑦ 異常音はありませんか？

4 その他

- ① 最大搭載人員を厳守していますか？
- ② 乗船者全員がライフジャケットを着用していますか？
- ※ 漂流中、バッテリー確保のため電装品は使用しないようにします。
- ※ 航行中・漂流中、見張りには十分注意するようにします。

洋上でのトラブルシューティング

※ 詳細につきましては、製造メーカーのホームページをご覧ください。

船外機

エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる	燃料装置の不具合
			電気系統の不具合
		まわらない	電気系統の不具合
			クラッチ中立スイッチの不具合
機関が停止する、パワーが無い、またはアイドルが不安定			燃料装置の不具合
			電気系統の不具合
警報ブザーが鳴る、または警告灯が点灯する			冷却水経路の不具合
			燃料装置の不具合
振動が大きい			据え付けの不具合

P W C

エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる	スロットレバースイッチの不具合
		まわらない	電気系統の不具合
警告灯が点滅する、または警告灯が点灯する	オーバーヒート警告		冷却水経路の詰まり
エンジンの回転数が低すぎる、または推進力が弱い			オーバーヒート
エンジンの回転数が3,000rpm以上に上がらない	冷却水の温度が高い		ジェットポンプの不具合

燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける
燃料タンクのエアベントスクリュが締まっている	燃料タンクのエアベントスクリュを2~3回転緩める
燃料装置に空気が混入している	プライミングポンプで燃料を供給する
油水分離器に水が充満している	水を排出する
スパークプラグキャップが外れている	キャップを正しく入れ直す
スパークプラグの不良	電極の清掃または交換
スパークプラグの電極隙間が不適切	正規の隙間量に調整する
バッテリースイッチが入っていない	バッテリースイッチをONIにする
バッテリーコード端子のゆるみ、または腐食	バッテリーコード端子の増し締め、または清掃する
緊急エンジン停止コードのロックプレートが正しく差し込まれていない	ロックプレートを正しく差し込む
配線が接続不良・損傷している	配線を接続し直す
ヒューズの切断	原因を調べ、ヒューズを交換する
クラッチのリモートコントロールレバーが中立になっていない	クラッチのリモートコントロールレバーを中立位置にする
燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける
燃料タンクのエアベントスクリュが締まっている	燃料タンクのエアベントスクリュを2~3回転緩める
燃料ホースが圧迫されている	ホース取り回しの折れ曲がりをなくす
燃料ホースの接続が正しくない	ホースを接続し直す
油水分離器に水が入っている	水を排出する
チョークが作動している	チョークノブを戻す
チルトを上げすぎている	チルトを下げる
スパークプラグの不良	電極の清掃または交換
スパークプラグの電極隙間が不適切	正規の隙間量に調整する
配線が接続不良・損傷している	配線を接続し直す
バッテリーコード端子のゆるみ、または腐食	バッテリーコード端子の増し締め、または清掃する
冷却水吸水口にゴミが付着している	吸水口のゴミを除去する
燃料フィルターカップ内に水が入っている	カップ内の水を除去する
船外機取付ボルトのゆるみ	ボルトを増し締める
スロットルレバーを握っている	スロットルレバーを開放する
イグニッションキーが穴に差し込まれていない	キーを穴に差し込む
緊急エンジン停止コードのロックプレート・キーが正しく差し込まれていない	ロックプレート・キーを正しく差し込む
制御のロックが設定されている	制御を解除する
吸水口に海草・ゴミが詰まっている	吸水口から異物を除去する
回転数制御が作動している	吸水口を清掃し、エンジンを冷却する
吸水口に海草・ゴミが詰まっている	吸水口から異物を除去する

洋上でのトラブルシューティング

※ 詳細につきましては、製造メーカーのホームページをご覧ください。

ディーゼル機関

エンジンが始動しない	スタータモーターがまわるか？	まわる
		まわらない
チャージランプが正常に作動しない	チャージランプが停止中に点灯しているか？	点灯
	チャージランプが運転中に消灯しない	消灯
潤滑油圧力警報ランプが点灯	潤滑油圧力計は正常な値を示しているか？	低い
	潤滑油量は正常か？	正常
潤滑油温度警報ランプが点灯	潤滑油量は正常量か？	少ない
	正常	冷却水の吐出量は正常か？
		少ない
清水温度警報ランプが点灯	清水量は正常量か？	少ない
	正常	冷却水の吐出量は正常か？
		少ない
排気に黒い煙が出る	冷却水の吐出量は正常か？	少ない
減速逆転機の不具合	航走中にクラッチがスリップする	
	前後進の切換ができない	

	不具合の内容	処置
燃料装置の不具合	燃料バルブ(コック)が閉じている	燃料バルブ(コック)を開ける
	燃料装置に空気が混入している	エア抜をする
	油水分離器に水が充満している	水を排出する
電気系統の不具合	バッテリースイッチが入っていない	バッテリースイッチをONにする
	スターターまたはスターターリレーの不良	端子を締め直す
	接続カブラの接触不良	カブラを取り外して、再度組み付ける
クラッチ中立スイッチの不具合	クラッチのリモートコントロールレバーが中立になっていない	クラッチのリモートコントロールレバーを中立位置にする
オルターネータまわりの不具合	エンジンの回転が低い	エンジンの回転を上げる
	オルターネータ駆動Vベルトのゆるみ	Vベルトの張り強さを調整する
	オルターネータの不良	端子を締め直す
電気系統の接触不良	ハーネス端子のゆるみ・接触不良	端子を締め直す
潤滑装置の不具合	潤滑油フィルタが目詰まりしている	フィルターを洗浄する
潤滑油量の不足	潤滑油が漏れている	漏れ箇所を処置し、補給する
冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	キングストンコックを全開にする
	ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
清水量の不足	清水量が不足している	予備清水を補給する
	清水が漏れている ・ゴムホースバンドのゆるみ ・ドレンコックのゆるみ	不良部を探し、 増し締め、部品交換などの処置をする
冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	キングストンコックを全開にする
	ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
冷却水経路の詰まり	キングストンコックが十分開いていない	キングストンコックを全開にする
	ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
クラッチハンドル位置の不良	トローリングハンドルの位置が外ローリング状態になっている	トローリング状態を解除する
	クラッチハンドルとクラッチレバーの間に位相のずれがある	ハンドルとレバーの位相のずれを修正する
リモコンケーブルの不具合	リモコンケーブルの調整不良	ケーブルを再調整する

あなたは遵守事項を守っていますか!

平成28年7月1日から

「見張りの実施義務違反」「発航前の検査義務違反」が行政処分の対象となります!

モーターボートや水上オートバイなどのプレジャーボートその他の小型船舶を安全に利用いただくため、小型船舶操縦者(船長)に対し、法令で遵守事項を定めています。

- 酒酔い等操縦の禁止 ■ 危険操縦の禁止 ■ 免許者の自己操縦 ■ ライフジャケットの着用



- 見張りの実施



- 発航前の検査



- 事故時の人命救助



■ 遵守事項違反点数

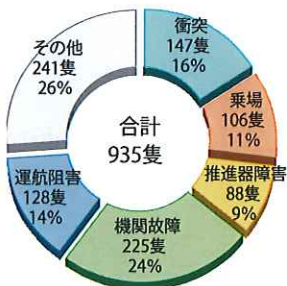
違反の内容	点数	他人を死傷させた場合
酒酔い等操縦、自己操縦義務違反、危険操縦、見張りの実施義務違反	3点	6点
ライフジャケットの非着用、発航前の検査義務違反	2点	5点

■ 行政処分及び再教育講習受講通知基準表

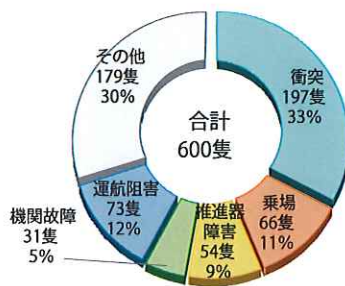
		過去1年以内の違反累計点数				
		2点	3点	4点	5点	6点
過去3年以前の処分前歴※	無	処分の対象外 (受講通知)			業務停止 1月 (受講通知)	業務停止 2月 (受講通知)
	有	処分の対象外 (受講通知)	業務停止 3月 (受講通知)	業務停止 4月 (受講通知)	業務停止 5月 (受講通知)	業務停止 6月 (受講通知)

※処分前歴とは、遵守事項違反等による処分又は海難審判所の裁決による操縦免許に係る処分の前歴をいう。

プレジャーボートの海難事故の傾向



漁船の海難事故の傾向



- 海難事故の傾向を見ると…
機関故障や衝突が多く、不十分な発航前検査と見張りが原因となっています。
- 裏面の発航前検査チェックリストによる確認を!
- 少しでも気になる場合は、マリーナや船舶整備業者に相談しましょう。

(※海上保安庁資料より作成)

発航前検査チェックリスト

発航前検査は、船長の義務です。

平成28年7月1日より、発航前の検査義務違反は行政処分の対象となります。



エンジン始動前の検査

船体の検査

- ① 船体に亀裂や破口はないですか。
- ② エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



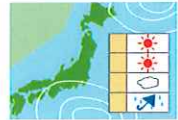
エンジンの検査

- ③ 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- ④ 燃料コック（バルブ）は開いていますか。
燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ⑤ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- ⑥ 冷却清水の量は十分ですか。
- ⑦ バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



救命設備等その他の検査

- ⑧ ライフジャケットを着用しましたか。
- ⑨ 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- ⑩ 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



エンジン始動後の検査

エンジンの状態確認

- ⑪ 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- ⑫ 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- ⑬ エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。

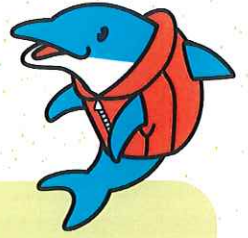


© 2014 JMRA/KAZI

小型船舶の安全運航のために

- 海の安全情報
- 発航前検査の詳細情報
- 緊急時のトラブルシューティング
- もしもに備えて保険加入
 - 事故（遊泳者との接触、衝突など）を起こした場合、多額の補償責任が生じます。
 -

自己救命策確保 3つの基本!



1



ライフジャケットの
常時着用

2



携帯電話などの
適切な連絡手段の確保

3



海のもしものは118番

MEMO

名前

TEL

住所

緊急連絡先

TEL

船名

船舶番号

登録番号

登録地

販売店名

TEL

所属団体名

TEL

海上保安庁へのお問い合わせは最寄りの官署へ

海上保安部署名

TEL

URL

気象情報

TEL